

2 地下水位調査結果の概要

地盤沈下と密接な関係にある地下水位の変動状況を把握するため、観測井戸 95 井（地盤沈下観測所 37 箇所）では、常時地下水位の観測を実施し、他機関設置観測井（民間等委託）94 井では、毎月 1 回地下水位の観測を実施している。（表 2 - 1、資料 - 3）

表 2 - 1 各地域の観測井数

区分	県設置 観測井数	県設置 地盤沈下観測所数	他機関設置 観測井数
尾張地域	71	24	60
瀬戸市・尾張旭市	0	0	2
知多地域	0	0	11
西三河地域	14	7	14
東三河地域	10	6	6
渥美地域	0	0	1
合計	95	37	94

注 1) 県設置観測井数及び他機関設置観測井数は名古屋市を除く。

注 2) 県設置観測井数及び県設置地盤沈下観測所数には、岡崎市及び豊橋市管理分も含む。

(1) 尾張地域

平成 27 年の地下水位は、図 2 - 1 ~ 5 に示すとおりである。

県設置観測井の年平均地下水位は、71 井すべてが上昇（平成 26 年は、71 井中 59 井上昇）し、71 井の地下水位変動量の平均は 0.21m の上昇（平成 26 年は、0.17m）であった。（資料 - 4 (1)）

また、美和地盤沈下観測所における帯水層別の年別地下水位変動状況を図 2 - 6 に、主要な地盤沈下観測所の水位変動状況を表 2 - 2 に示した。

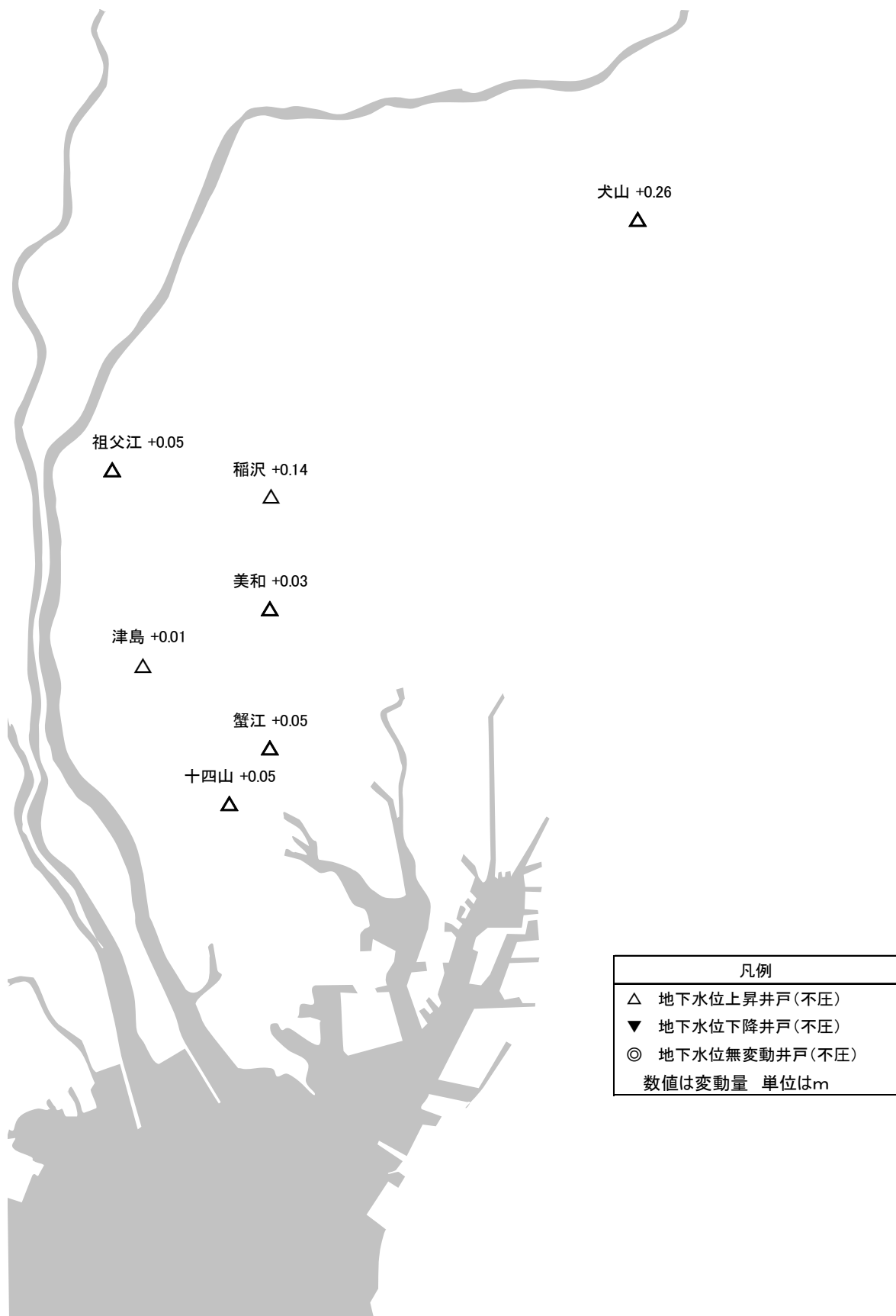
揚水規制区域内の他機関設置観測井の年平均地下水位は、59 井中 47 井が上昇（平成 26 年は、60 井中 42 井上昇）し、59 井の地下水位変動量の平均は 0.11m の上昇（平成 26 年は、0.06m 上昇）であった。（資料 - 4 (1)）

上記のとおり、尾張地域の地下水位は昨年と比べやや上昇傾向であった。



注) G1、G2、G3帯水層とは、濃尾平野の砂礫層を指し、地表より順に第一、第二、第三砂礫層と呼ばれ、利用可能な地下水が多く含まれる地層（被圧帯水層）である。

図2-1 観測井の地下水位変動状況（平成26年と27年の平均地下水位比較）



注) 不圧地下水位とは、地表面近くの砂層中を流れる自由水面を持った地下水(不圧地下水)の水位である。

図 2 - 2 観測井不圧地下水位変動状況 (7 井)
(平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較)

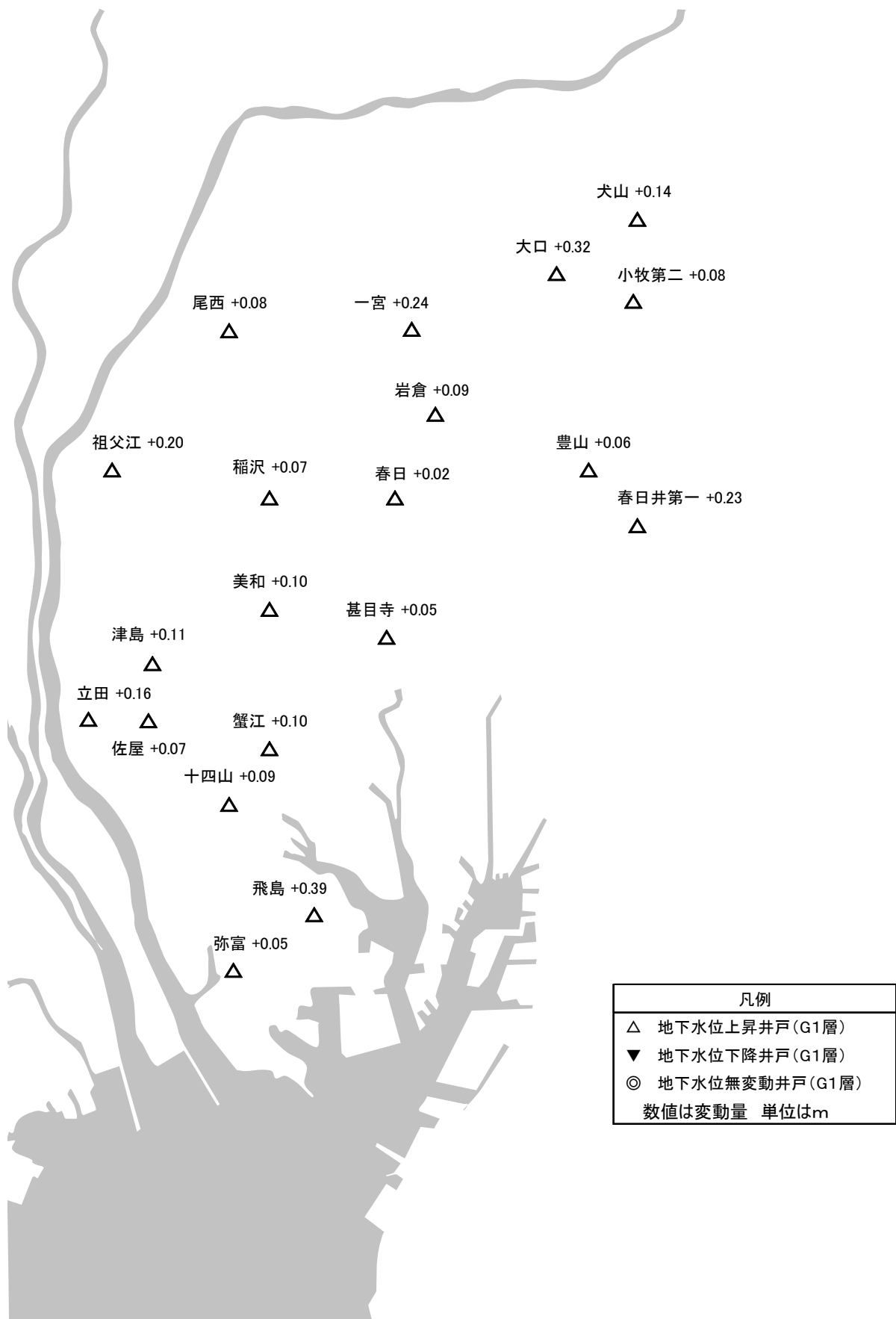


図 2 - 3 観測井 G 1 層の地下水位変動状況 (20 井)
 (平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較)

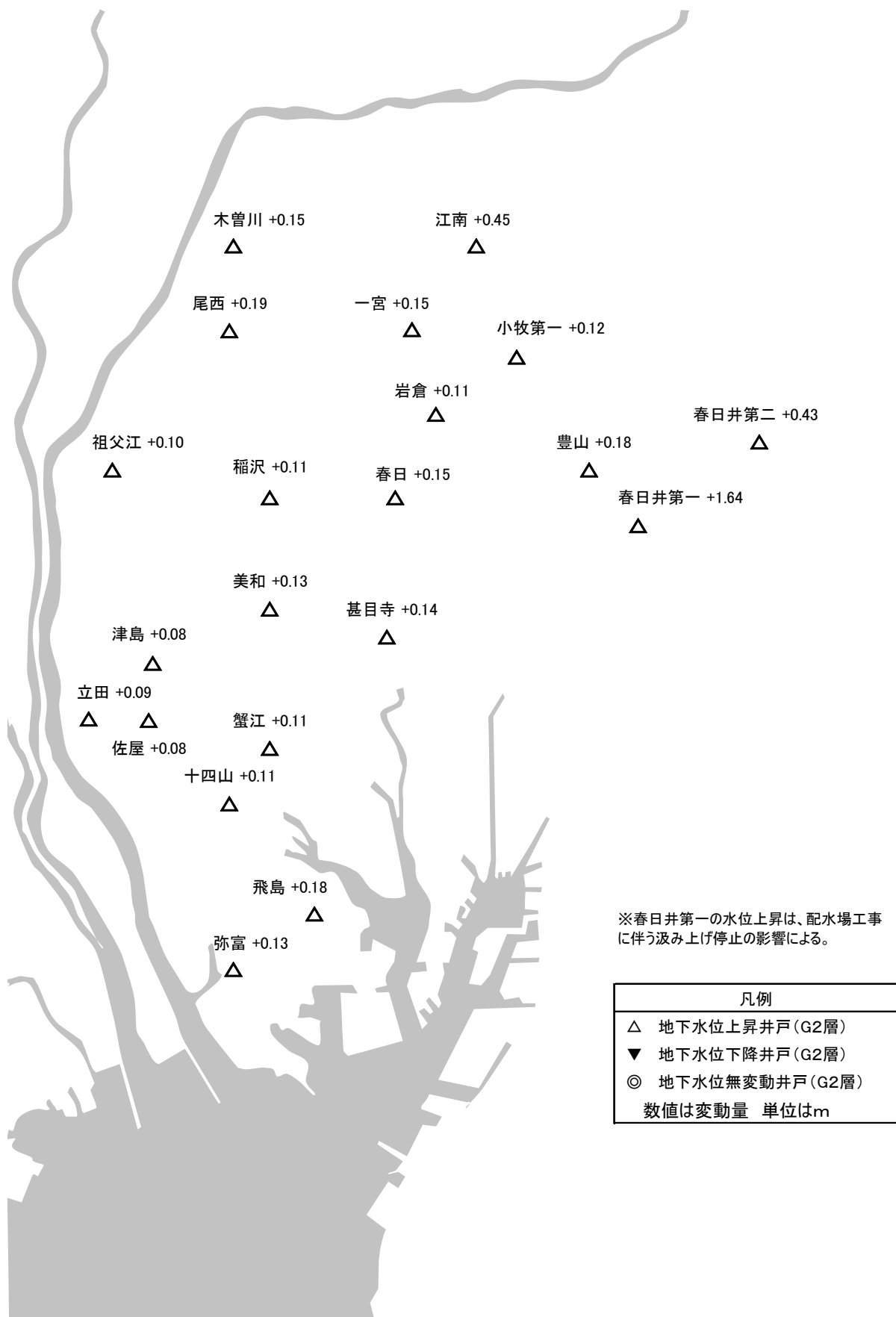


図 2 - 4 観測井 G 2 層の地下水位変動状況 (21 井)
(平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較)

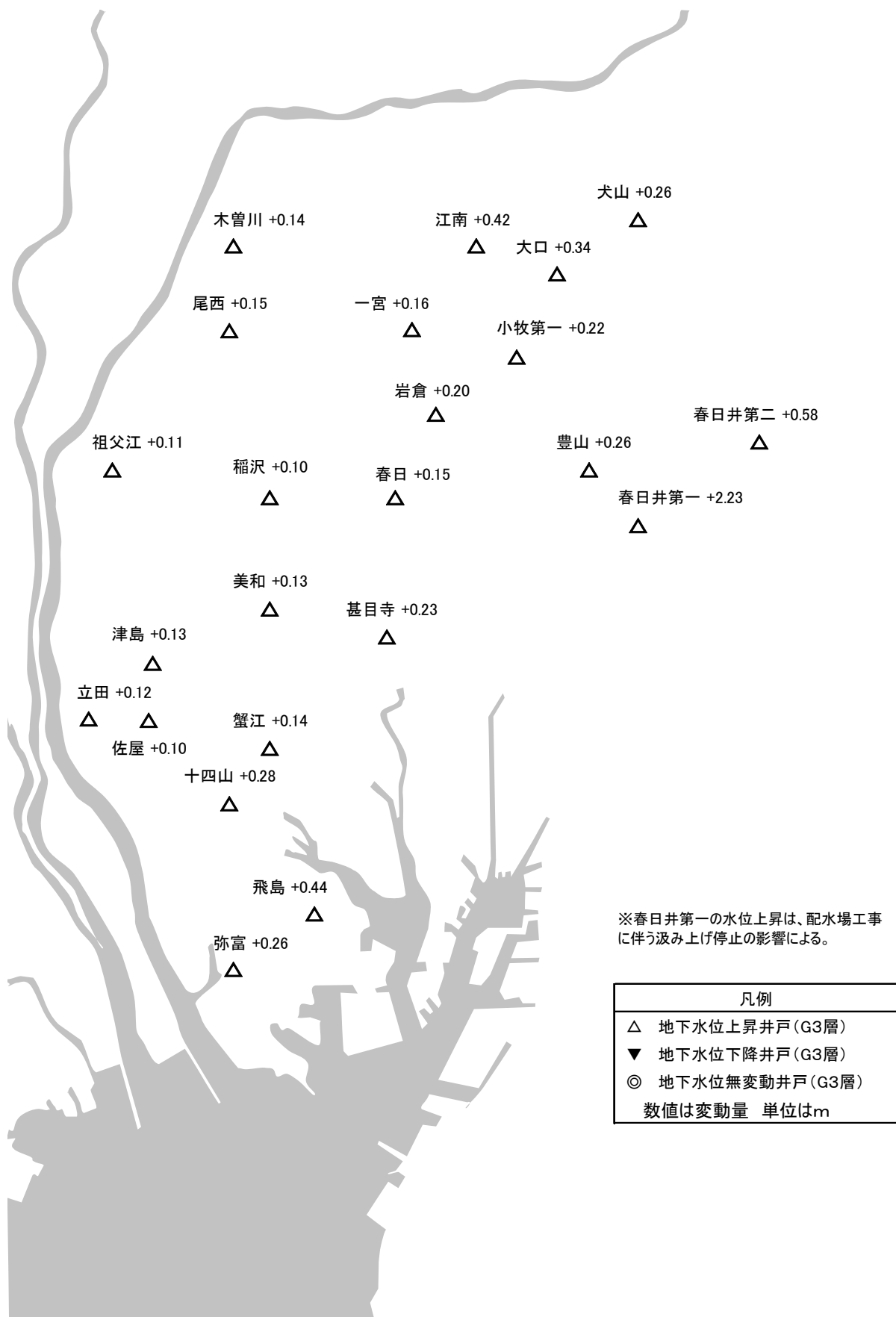


図 2 - 5 観測井 G 3 層の地下水位変動状況 (23 井)
(平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較)

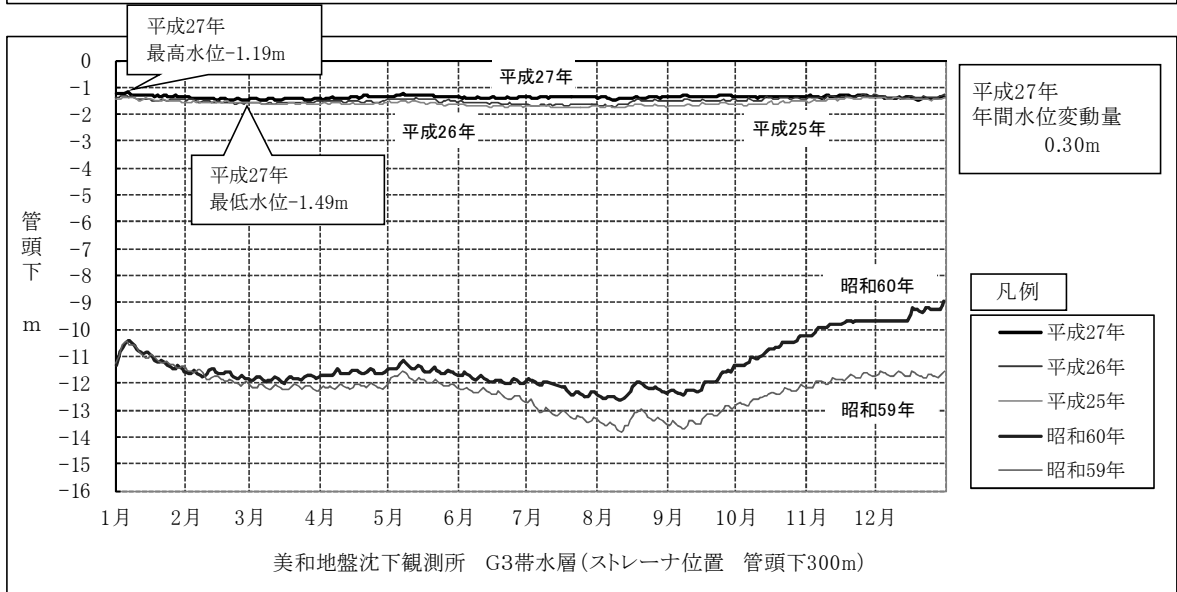
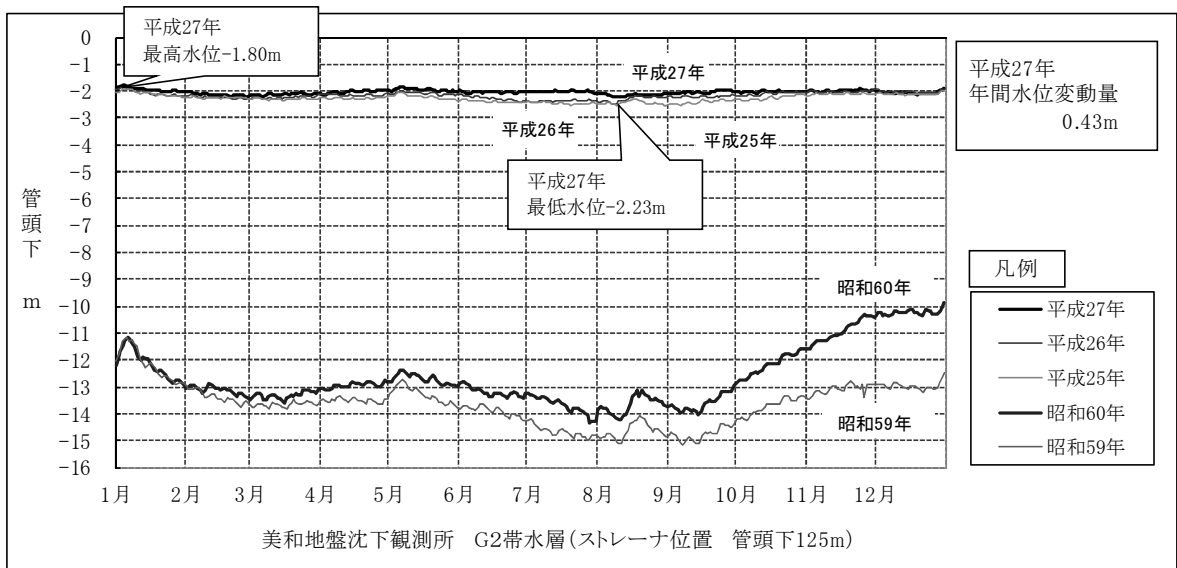
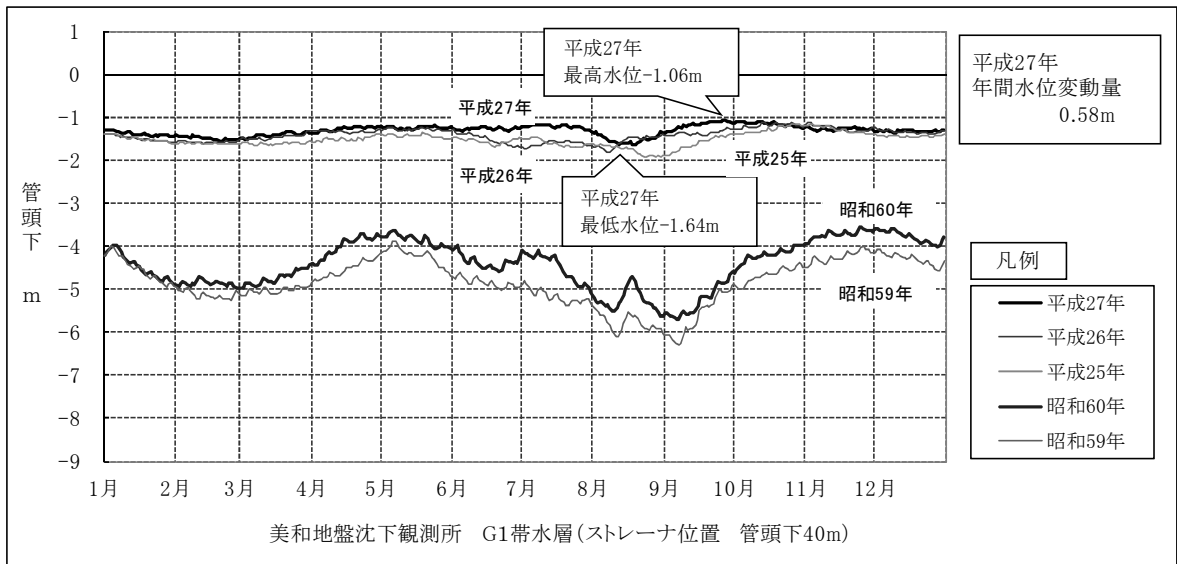


図 2 - 6 年別地下水位変動状況 (美和地盤沈下観測所)

表 2 - 2 主要な地盤沈下観測所の年平均地下水位変動状況

観測所名	観測開始年月日	深 度	平成26年水位			平成27年水位			26年と27年の 水位変動量	観測開始から の変動量	最低水位 最低水位期
			平均	最高	最低	平均	最高	最低			
飛島	昭和49年 4月26日	50	2.72	2.30	3.49	2.33	2.11	2.53	0.39	4.14	7.67 昭和51年8月
		150	3.97	3.62	4.32	3.79	3.56	4.06	0.18	25.16	33.58 昭和50年8月
		300	3.47	3.32	3.65	3.03	3.14	3.49	0.44	25.45	30.58 昭和50年8月
十四山	昭和52年 4月1日	55	1.19	1.11	1.30	1.10	1.01	1.18	0.09	8.19	10.03 昭和52年8月
		163	1.41	1.23	1.64	1.30	1.14	1.54	0.11	19.23	26.13 昭和52年8月
		307	1.10	0.76	1.51	0.82	0.65	1.29	0.28	22.38	26.77 昭和52年8月
	平成18年 3月22日	10	2.17	1.82	2.58	2.12	1.67	2.44	0.05	-0.09	3.18 平成24年1月
津島	昭和53年 1月21日	54	1.06	0.67	1.56	0.95	0.71	1.51	0.11	5.75	10.15 昭和53年9月
		144.5	0.79	0.57	1.09	0.71	0.49	1.02	0.08	13.30	17.66 昭和53年8月
		300	0.35	0.11	0.56	0.22	0.08	0.35	0.13	15.02	17.58 昭和53年8月
	平成23年 3月7日	7	2.20	1.64	2.64	2.19	1.59	2.93	0.01	-0.03	2.93 平成27年11月
蟹江	昭和53年 4月1日	59	1.86	1.76	1.94	1.76	1.65	1.88	0.10	5.93	8.70 昭和53年9月
		143.5	1.90	1.71	2.15	1.79	1.65	1.99	0.11	17.92	23.81 昭和53年8月
		281	1.02	0.75	1.30	0.88	0.75	1.09	0.14	16.50	19.95 昭和53年8月
	平成23年 3月7日	7	2.32	1.92	2.68	2.27	1.83	2.65	0.05	-0.08	2.69 平成23年4月
美和	昭和50年 6月3日	40	1.42	1.12	1.81	1.32	1.06	1.64	0.10	6.36	9.12 昭和50年8月
		125	2.17	1.84	2.48	2.04	1.80	2.23	0.13	22.61	26.70 昭和50年9月
		300	1.50	1.24	1.73	1.37	1.19	1.49	0.13	20.53	22.08 昭和50年10月
	平成18年 3月22日	10	2.33	1.89	2.76	2.30	1.79	2.66	0.03	0.02	2.80 平成19年2月
稲沢	昭和51年 4月26日	50	3.47	3.11	3.78	3.40	2.92	3.67	0.07	2.74	7.36 昭和51年8月
		130	5.31	5.00	5.59	5.20	4.93	5.39	0.11	17.83	26.75 昭和51年7月
		260	5.12	4.84	5.33	5.02	4.80	5.15	0.10	17.87	24.98 昭和51年7月
	平成23年 3月7日	7	2.99	2.46	3.45	2.85	1.70	3.20	0.14	-0.01	3.45 平成26年2月
一宮	昭和55年 1月30日	40	2.40	1.46	3.10	2.16	1.35	2.58	0.24	4.54	8.07 昭和55年3月
		100	5.67	5.17	6.01	5.52	5.01	5.86	0.15	5.14	11.75 昭和55年3月
		200	5.74	5.23	6.07	5.58	5.16	5.93	0.16	5.46	12.12 昭和55年2月
犬山	昭和56年 1月23日	40	8.55	6.88	9.86	8.41	6.78	9.73	0.14	1.70	13.19 昭和59年5月
		62	9.32	7.41	10.69	9.06	7.20	10.47	0.26	2.02	14.23 昭和59年5月
	平成21年 3月19日	13	8.43	6.59	9.95	8.17	6.36	9.64	0.26	0.36	10.71 平成23年4月

注1) 観測データは、管頭下の値(井戸の天端から水面までの深さ)である。 注2) 変動量は、各年の平均水位を比較したものである。
 注3) 最高は日平均の最高値、最低は日平均の最低値、平均は日平均から算出した1年間の月平均水位の合計を月数で除した値である。

(2) 西三河地域

平成 27 年の地下水位は、図 2 - 7 ~ 9 に示すとおりである。

県設置観測井の年平均地下水位は、14 井中 8 井が上昇(平成 26 年は、14 井中 9 井上昇)し、14 井の地下水位変動量の平均は 0.06m の上昇(平成 26 年は、0.01m 上昇)であった。(資料 - 4 (2))

また、吉良地盤沈下観測所における年別地下水位変動状況を図 2 - 10 に、主要な地盤沈下観測所の年平均地下水位変動状況を表 2 - 3 に示す。

他機関設置観測井の年平均地下水位は、14 井中 5 井が下降(平成 26 年は、15 井中

6井下降)し、14井の地下水位変動量の平均は0.04mの下降(平成26年は、0.04m下降)であった。(資料-4(2))

上記のとおり、西三河地域の地下水位は昨年と比べ概ね同程度であった。

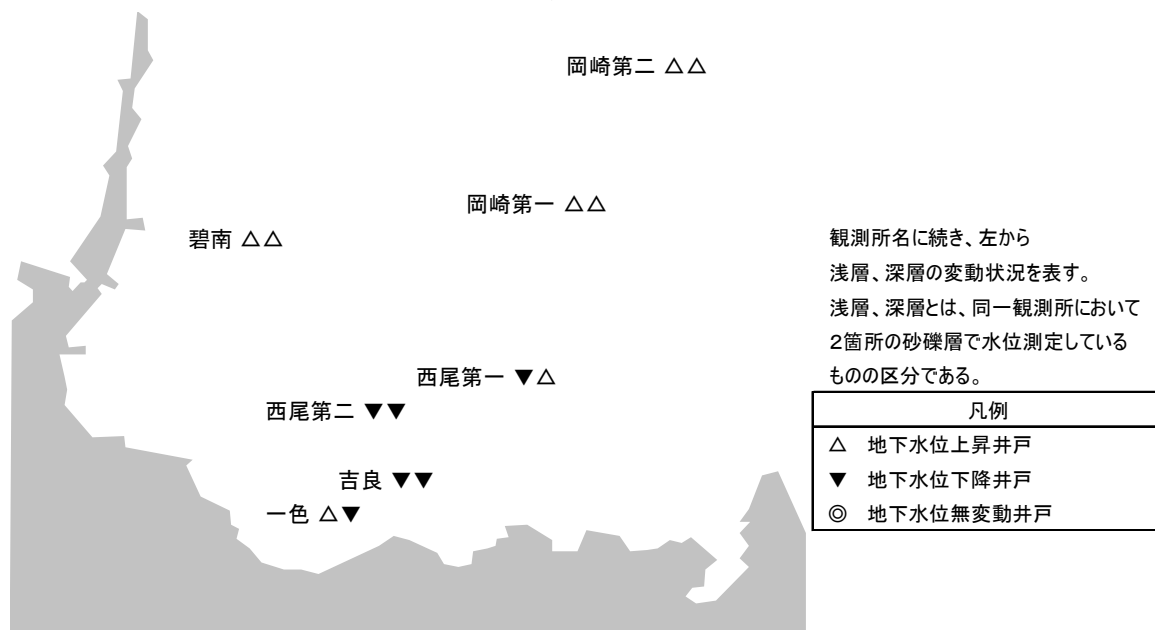


図2-7 西三河観測井の地下水位変動状況
(平成26年と27年の平均地下水位比較)

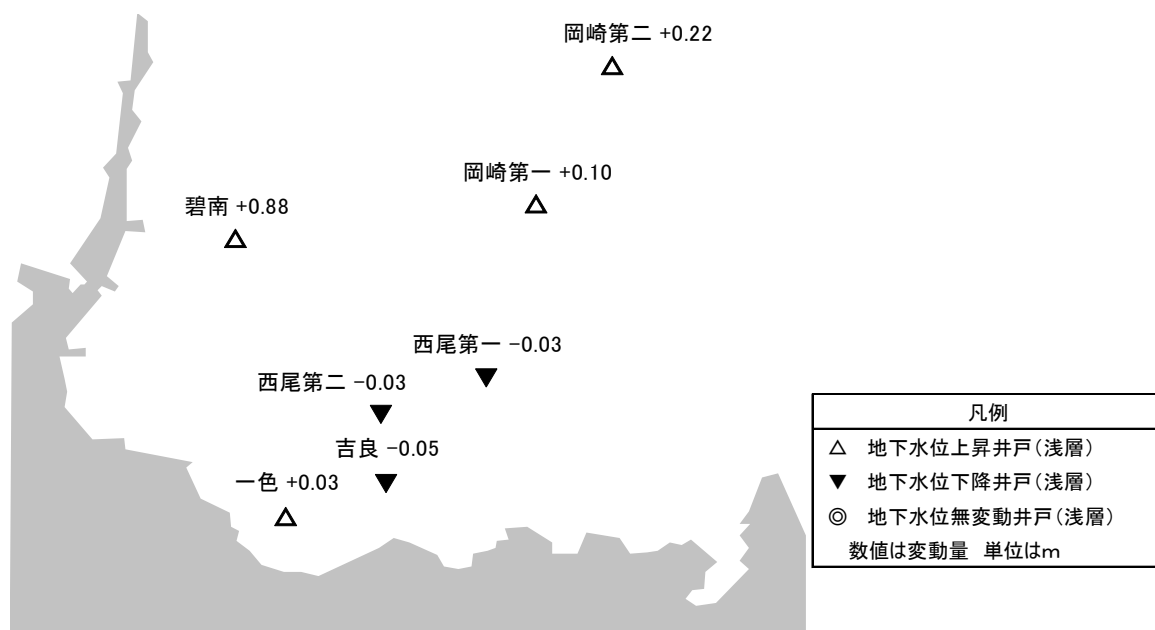


図2-8 西三河浅層の地下水位変動状況(7井)
(平成26年と27年の平均地下水位比較)

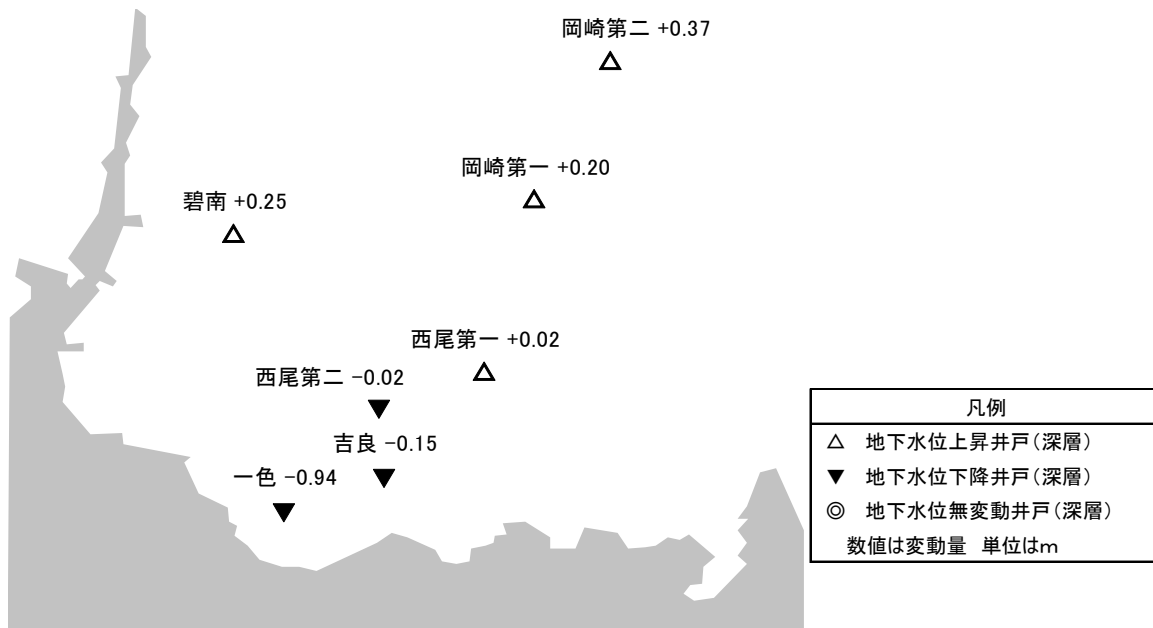


図 2 - 9 西三河深層の地下水水位変動状況 (7井)
(平成26年と27年の平均地下水水位比較)

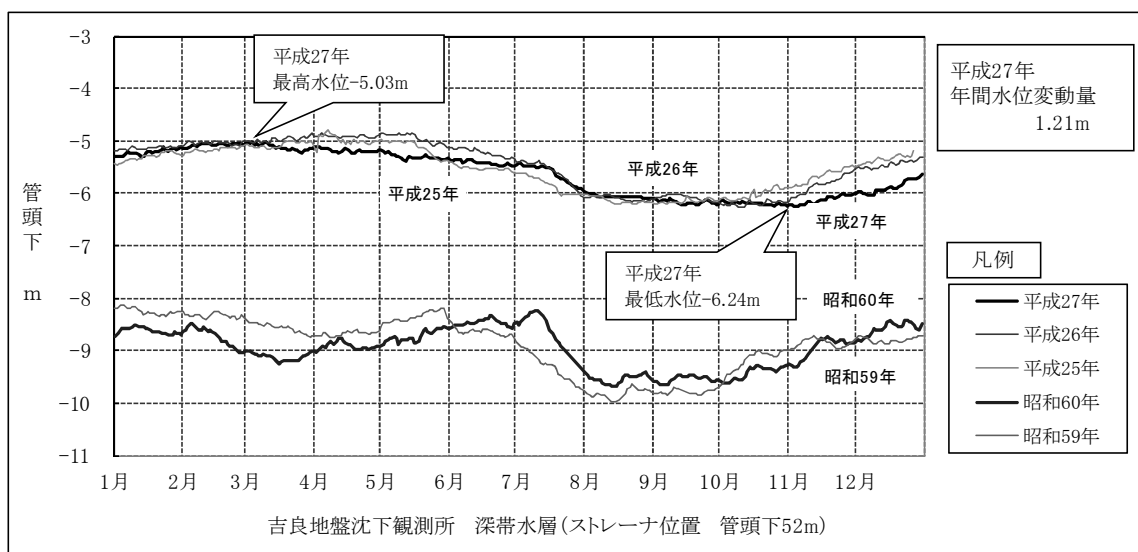
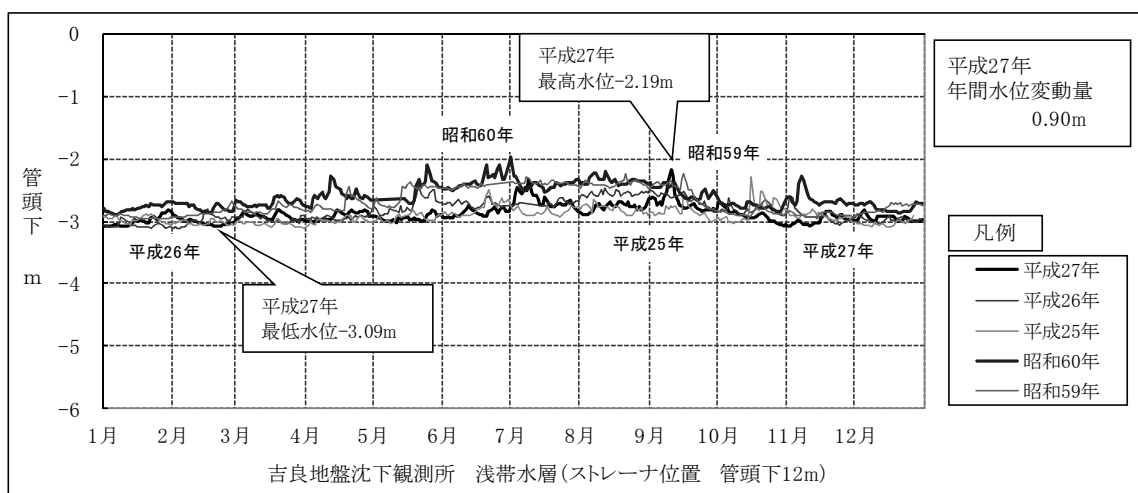


図 2 - 10 年別地下水水位変動状況 (吉良地盤沈下観測所)

表 2 - 3 主要な地盤沈下観測所の年平均地下水位変動状況

観測所名	観測開始年月日	深 度	平成26年水位			平成27年水位			26年と27年の水位変動量	観測開始からの変動量	単位:m	
			平均	最高	最低	平均	最高	最低			最低水位	最低水位期
吉良	昭和51年	12	2.84	2.42	3.11	2.89	2.19	3.09	-0.05	-0.53	3.21	
	11月4日										10.15	
西尾第一	昭和56年	12	3.19	2.72	3.65	3.22	2.56	3.76	-0.03	-0.25	4.06	
	2月28日										9.36	
一色	昭和56年	31	8.33	7.73	9.06	8.30	7.90	8.56	0.03	-2.52	9.06	
	3月20日										15.51	
岡崎第一	昭和58年	47	4.68	4.40	5.06	4.58	3.88	4.80	0.10	1.23	7.99	
	4月1日										9.91	
豊橋第一	昭和55年	47	2.10	1.70	2.52	1.92	1.63	2.26	0.18	5.83	11.48	
	1月9日										28.41	
豊橋第二	昭和57年	63	5.04	4.27	5.59	4.87	3.41	5.19	0.17	1.48	8.34	
	3月12日										15.63	
	昭和57年	150	5.36	4.84	6.11	5.16	4.83	5.67	0.20	8.38	昭和57年7月	

注1) 観測データは、管頭下の値(井戸の天端から水面までの深さ)である。

注2) 変動量は、各年の平均水位を比較したものである。

注3) 最高は日平均の最高値、最低は日平均の最低値、平均は日平均から算出した1年間の月平均水位の合計を月数で除した値である。

(3) 東三河地域

平成 27 年の地下水位は、図 2 - 11~13 に示すとおりである。

県設置観測井の年平均地下水位は、10 井中 8 井が上昇(平成 26 年は、10 井中 7 井上昇)し、10 井の地下水位変動量の平均は 0.05m の上昇(平成 26 年は、0.08m 上昇)であった。(資料 - 4 (2))

東三河地域における他機関設置観測井の年平均地下水位は、6 井中 4 井が上昇(平成 26 年は、6 井中 4 井下降)し、6 井の地下水位変動量の平均は 0.32m の上昇(平成 26 年は、0.12m 下降)であった。(資料 - 4 (2))

また、主要な地盤沈下観測所の年平均地下水位変動状況を表 2 - 3 に示したとおりである。

上記のとおり、東三河地域の地下水位は昨年と比べやや上昇傾向であった。

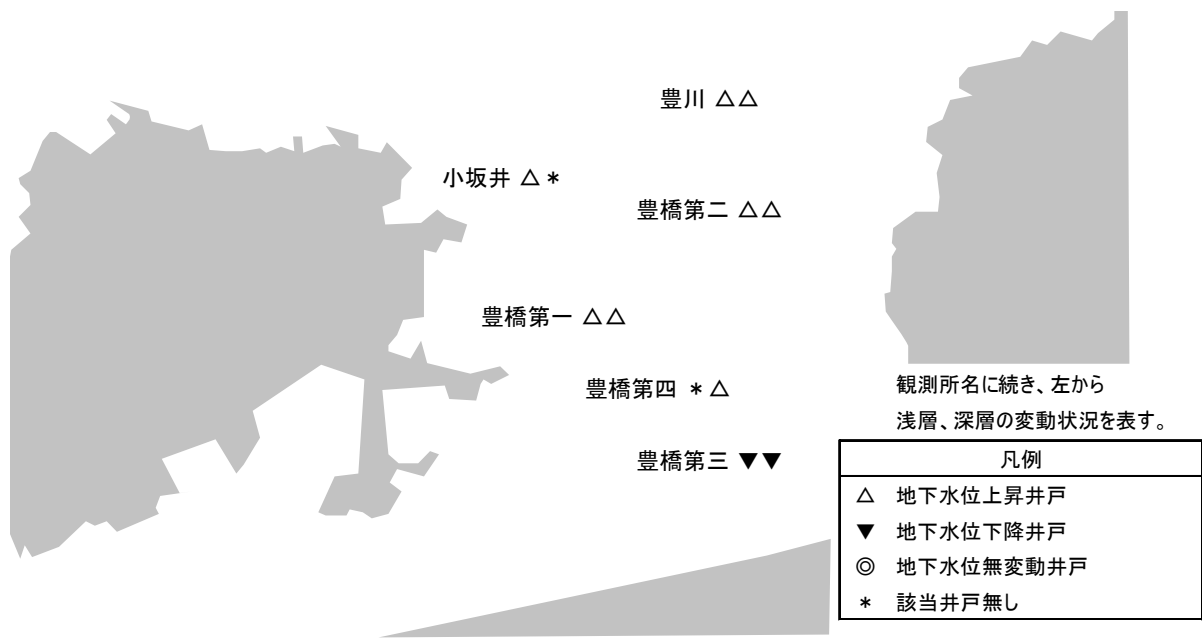


図 2 - 11 東三河観測井の地下水位変動状況
(平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較)

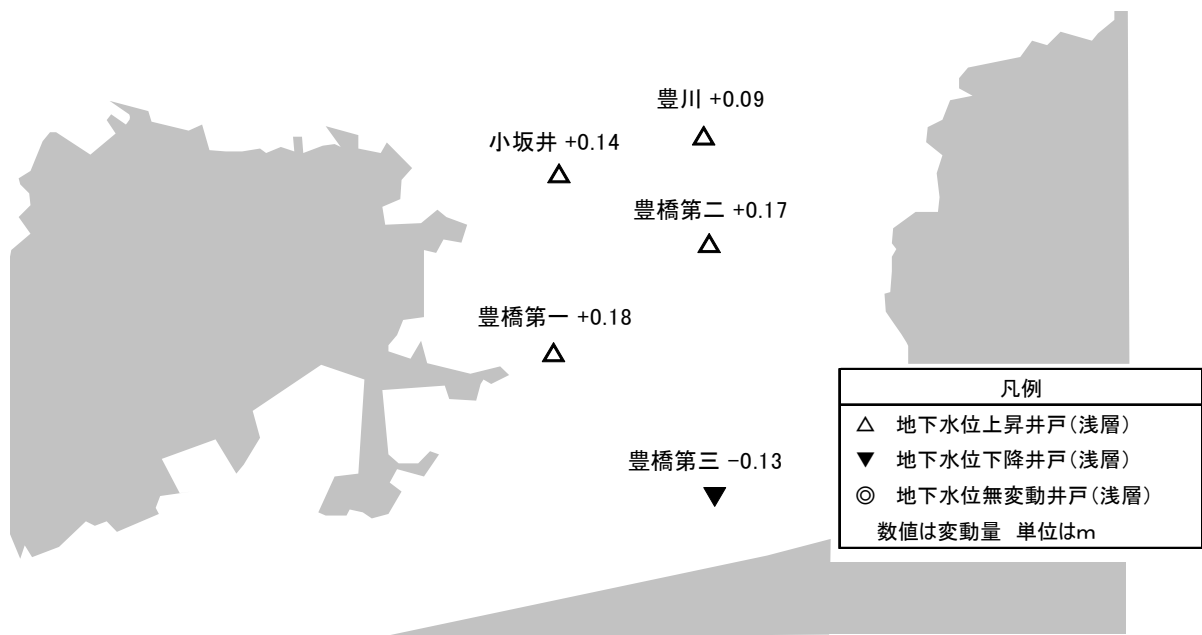


図 2 - 12 東三河浅層の地下水位変動状況 (5 井)
(平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較)

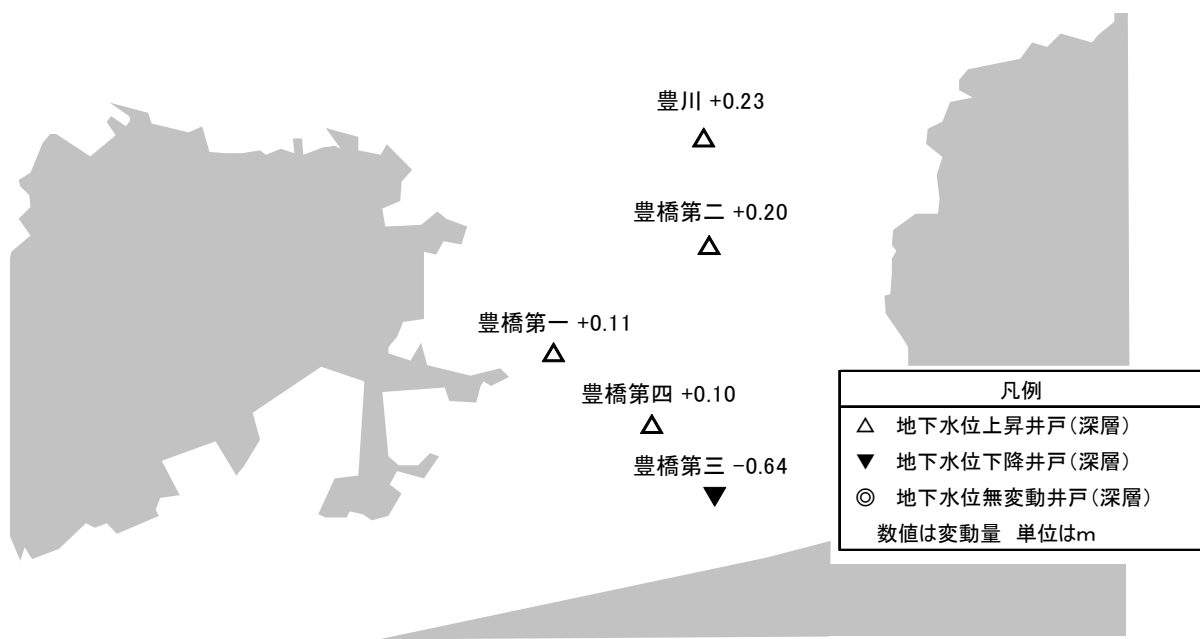


図 2 - 13 東三河深層の地下水位変動状況（5井）
（平成 26 年と 27 年の平均地下水位比較）

（4）渥美地域

他機関設置観測井における年平均地下水位は、観測した 1 井が下降（平成 26 年は、上昇）し、地下水位変動量は 0.18m の下降（平成 26 年は、0.07m 上昇）であった。（資料 - 4（2））

（5）知多地域

他機関設置観測井における年平均地下水位は、11 井中 7 井が上昇（平成 26 年は、11 井中 8 井上昇）し、11 井の地下水位変動量の平均は 0.25m の上昇（平成 26 年は、0.54m 上昇）であった。（資料 - 4（2））